



はじめに

今後10年を見通した大分県長期教育計画（「教育県大分」創造プラン2016）が仕上がりました。本計画は、昨今の社会情勢・教育情勢の変化を踏まえ、大分県長期総合計画（安心・活力・発展プラン2015）と大分県教育大綱をベースとして策定したものです。

本計画では、「生涯にわたる力と意欲を高める『教育県大分』の創造」という基本理念を掲げています。本県の歴史を振り返れば、小藩分立の中で教育・人材育成に注力し、近代日本の形成に貢献した数多くの人材を輩出した時代があります。三浦梅園・帆足万里とともに「豊後の三賢」とも言われる広瀬淡窓が主宰した咸宜園には、先進的な教育を求めて延べ数千もの門下生が全国から集まり、後に歴史に名を残す活躍を見せた人物も少なくありません。この咸宜園跡は、昨年、「近世日本の教育遺産群」の一つとして日本遺産第一号に認定されています。

教育は、個々人の可能性を開花させ人生を豊かにするとともに、社会全体の今後一層の発展を実現する基盤となります。次代を担う大分県の全ての子どもたちが、変化の激しい困難な時代を生き抜く力と意欲を身に付けられるよう、これまでの教育改革の流れを継承し、更なる高みを目指して不断の努力を継続することで「教育県大分」の創造を目指してまいります。

また、本格的な人口減少社会が到来する中、地方創生へと時代の流れは加速しています。地域を担い、地域を支える人材育成の観点から「人を大事にし、人を育てる」施策を展開するとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化・スポーツ振興の機を捉え、文化・スポーツ面からも「地域を守り、地域を活性化する」取組を進めてまいります。

本計画の策定にあたっては、教育界はもとより各界の第一線で活躍されている16名の有識者からなる委員会でご意見を伺い議論を深めるとともに、パブリックコメントや市町村教育委員会との「『教育県大分』の創造に向けた意見交換会」を通じて、数多くの貴重なご意見をお寄せいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

計画の実行にあたっては、年度毎の点検・評価を通じて計画の進行管理を行うことで実効性を高めていく必要があります。また、学校現場・市町村教育委員会との意思疎通、知事部局との連携を密にすることはもとより、広く県民の皆様のご協力をいただき、県民総ぐるみで「教育県大分」を築いていきたいと考えております。ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成28年（2016年）3月

大分県教育委員会

教育長 工藤 利明